
第130回LC研究懇談会

日時:1998年12月15日(火) 13時～17時45分

会場:東京理科大学記念講堂(1号館、17階)

[東京都新宿区市谷田町3-21-6、電話:03-3260-4271、交通:JR総武線「飯田橋」駅下車 徒歩4分]

講演主題:分析信頼性確保のための基準・認証制度と国際整合性

講演

1. 講演主題概説 (13:00～13:05)

(物質研計測化学部)野村 明

2. 我が国の知的基盤整備と国際整合性 (13:05～13:50)

(工技院知的基盤課長)武田 貞生

3. 物質質量諮問委員会(CCQM)の創設と国際整合性に向けての活動 (13:50～14:20)

(物質研計測化学部)倉橋 正保

4. 分析値の取り扱いと不確かさの実際について (14:20～15:00)

(物質研計測化学部)日置 昭治

5. 分析試験所の信頼性に寄与する試験所認定制度について (15:10～15:35)

((財)日本適合性認定協会(JAB))岩田 英夫

6. ISO 9000、14000システムと分析信頼性との関わり (15:35～16:00)

((財)電気安全環境研究所(JET))志村 武彦

7. 特定二次標準液の濃度値の不確かさ—イオンクロマトグラフを用いた場合 (16:00～16:25)

((財)化学品検査協会化学標準部)四角目 和広

8. 医薬品開発における分析値の信頼性確保について (16:25～16:50)

(三共(株)第一生産技術研究所)河崎 孝男

9. HPLCにおける分析法バリデーション (16:50～17:15)

((株)島津製作所分析器機事業部)高橋 雅俊

10. 分析値の信頼性確保における課題 (17:15～17:45)

(東京理科大薬学部)中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、分析化学会・共催学会会員:2,000円、その他:3,000円(当日受付にてお支払い下さい)、学生は無料。

共催学会等:日本化学会, 日本薬学会, 日本生化学会

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

懇親会「忘年会」を兼ねて開催します。奮ってご参加を!

講演終了後、講師を囲んで立食パーティー形式の懇親会を開催します。会費:1,000円

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話:03-5487-2790、FAX:03-3490-3572]

[LC研究懇談会情報ページへ戻る。](#)